

令和 3 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	24	学校名	県立勝田高等学校						課程	全日制		学校長名		下山田 芳子			
教頭名	橋本 晃輝											事務(室)長名		椎名 実			
教職員数	教諭	27	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	2	実習教諭, 実習講師, 実習助手		1	事務職員	3	技術職員等	3	計	41
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合 計 クラス数				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科		66	40	106	52	110	89			282	181	12				

2 目指す学校像

- ・心身ともに健やかで、気力に満ちた有為な人材を育成することに努める学校
- ・生徒の自立心を伸ばし、公正な判断力と健全な批判力を高め、豊かな人間性を培うことに努める学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	・生徒は概ね積極的に学習に取り組み、意欲も増している。アンケートで課題によく取り組んでいると回答した生徒は 46%(昨年度比-9%)と減少したが、平日 1 時間以上自主学習をしている生徒は 42%(昨年度比+28%)に伸びてきた。	・Classi による教材配信など新しい方策を併せ、自発的な学習習慣の定着と家庭学習の充実を目標とした学習支援を行う。 ・ICT 機器を活用し、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善に努める。
進路指導	・国公立大学への現役合格者数は 28 名。国公立大・難関私立大合格 60 名以上の目標に対し 73 名(昨年度比+16 名)と大躍進し、目標を達成できた。学力向上の方策が適切であったことと、教員の学習指導・進学指導スキルが向上したことが勝因と考える。	・高校 3 年間を見通した組織的・継続的な進路指導を行うとともに、探究活動・キャリア教育の充実を図る。特に、生徒が進路希望の実現のために、積極的に自ら調べ探求する態度を育成する体験活動・発表等の場を用意し、生徒の取り組みを支援する。

別紙様式 1 (高)

生徒指導	- 生活規律や問題行動に対して、細部にまで目を配る指導体制がより整備され、予防的・開発的な指導が行われている。特別指導を受ける生徒や、服装等で繰り返し注意を受ける生徒もほとんどいない。 - 登下校時の交通事故は減少傾向にあるが、自転車の乗り方等の交通マナーや、事故時の対応に課題がある。	- 全職員の共通理解のもと、きめ細やかな指導を推進することで、道徳心の充実と規範意識の高揚を目指す。 - 交通マナーの遵守及び事故時の対応について、講話や集会を充実させることにより、交通事故の未然防止と交通安全に対する意識の向上を図る。
特別活動	- 生徒会活動・部活動・各種委員会活動は概ね活発である。 - 学校行事も生徒が主体的に参加・運営をしている。 - 部活動加入率は75%以上を継続している。	- 特別活動への主体的な参加・活動をより一層促進する。 - 生徒会行事・部活動においては、新型コロナウイルス感染予防対策を取りつつ、中等教育学校と連携を取りながら弾力的な運営を行う。
幅広い働き方の実現	長時間労働は、今までより改善しているが、さらに長時間の労働を削減できる。	さらなる長時間労働の改善（マインドセットも含む）に向けて、仕事の効率化を図り、定時退勤を目指す。

4 中期的目標

- 異なる考え方やアプローチの方法が理解できる生徒の育成に努める。 - 教師の授業力を高め、学習指導の充実と生徒の学力向上を図る。 - 個に応じた学習指導を充実させ、生徒が自発的に学習に取り組み、より高い進路目標の実現を図ろうとする態度を養う。 - 生徒会活動や部活動等をより活性化させ、生徒が自主的・主体的に行動できる力を身に付けさせる。 - 道徳教育や奉仕活動等を通して、規範意識の高揚と自律的な生活習慣の確立に努め、豊かな人間性や社会性を育む。 - 広報活動を充実させ、保護者や地域への情報発信に努め、地域から信頼される開かれた学校づくりを目指す。 - 教職員の共通理解のもと、協働による指導を推進し、教師と生徒の信頼関係を構築する。 - 長時間労働の改善に向けて、仕事の効率化を図り、全職員の定時退勤を目指す。 - 勝田中等教育学校との連携を図り、教職員の協働やICT化により、業務の効率化を推進し、勝田高校との協力体制を構築する。
--

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 豊かな心の育成	①「挨拶」をする、「時間」を守る、「身だしなみ」を整える、ということを徹底し、

別紙様式 1 (高)

	規範意識の高揚を図る。 ②国際教育の充実を図り、広い視野と多様性を尊重する態度を養う。 ③奉仕的活動等への参加を積極的に推進し、豊かな人間性を養う。
2 確かな学力の涵養	④教師も生徒も授業第一をモットーに、学究的な雰囲気の醸成に努める。 ⑤授業内容と方法について工夫改善を加え、新学習指導要領に基づいた新入試に対応できる学力の育成を図る。 ⑥面談を充実させ、個々の生徒に応じたきめ細かな指導を行う。
3 進路指導の充実	⑦高校3年間を見通した組織的・継続的な進路指導体制の確立に努める。 ⑧探究活動・キャリア教育の充実を図る。 ⑨ICT機器を利用した教材配信など新しい方策を併せ、自発的な学習習慣の定着と家庭学習の充実を目標とした学習支援を行う。 ⑩ICT機器を活用し、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善に努める。
4 特別活動の活性化	⑪HR活動や生徒会活動、部活動等をより充実させ、自主・自立の精神の高揚を図る。 ⑫道徳教育等を推進し、学校生活における様々な規則を遵守し、自他の生命を尊重する意識の高揚を図る。 ⑬キャリア・パスポート等を整備し、活用していく。その上で、日々の教育活動の中で培われていく振り返る力と関連付けることへの意識付けを図る。
5 連携の強化	⑭保護者や地域住民への情報発信を積極的に行い、本校及び新校に対する理解と協力の獲得に努める。 ⑮職員間の連携を深めるため、報告・連絡・相談・確認・記録の徹底を図る。 ⑯地域の小・中学校への授業参観や先進校視察などを通し、新教育課程及び学校運営の在り方や授業改善などについて積極的な情報収集を図るとともに、勝田中等教育学校の教育活動へ積極的に関わり、学校運営を効率的かつ円滑に進める。 ⑰勝田中等教育学校へ移行する過程で、指導体制や教育方針、特色ある取り組みをより明確にして、広く周知に努める。

別紙様式 1（高）

6 働き方改革の実践	⑱長時間労働の改善に向けて、ＩＣＴ化を推進し、仕事の効率化を図り、定時退勤を目指す。また、積極的に休暇を取得し、心身の健康維持に努める。
------------	--